

山 中 だ よ り

山中
キャッチ
フレーズ

してもら
させられる人から
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第19号その1

発行 令和2年10月27日 校長 交久瀬善浩

◆◆10月20日（火）、オンラインで生徒朝礼を行いました◆◆

今年度はコロナ禍の為に生徒朝礼や始業式・終業式をグラウンドで実施してきました。しかし、国のGIGAスクール構想が3年間前倒しされて今年度中に全生徒・全教員へのiPadが配布(3年生は配布済)され、さらに学校用も数台予備があることから、今回、オンラインで会議室から各教室に映像を生中継で配信しての生徒朝礼を実験的に行ってみました。

朝礼開始時に若干のマイクのハウリングがあり音声が聞き取りにくい場面もありましたが、その他は上々の出来で、今後はコロナが終息するまで終業式や始業式も含めて、この方式で生徒朝礼を行っていくことにしました。

(会議室の様子)

(教室の様子<2枚>)



◆◆7月に実施した「Black Lives Matter」の授業が、朝日新聞に取り上げられ、記事となりました。◆◆

本校で7月に実施した「Black Lives Matter」の授業が、朝日新聞に取り上げられ、記事となりました。

今の中学生が社会に出て第1線で働くころの日本は、就労人口に比較して働くことができない高齢人口が大きく膨れ上がり、就労者一人が一人の高齢者を支えなければならないような社会になっている可能性が高いと考えられます。また、経済を支える人口が減ることから、今の日本の経済状況を支えるためには、海外から人を受入れ、日本に来てもらい働いてもらわないと、日本の経済・社会を維持できないとも考えられます。そうなったときに、海外からの人を受入れ、対等に渡り合っていくために、今の中学生にはいろんな人種の方に偏見持たず、あるいは圧倒されて委縮してしまうことなく、真に対等に理解し合う関係を築くだけの多文化に対する理解力の広さと心のゆとり、そして自分の意見や思いをきちんと伝えるだけの心の強さが必要と私は考えています。そのためには人種差別のことを避けて通ることはできません。



日本で暮らしていると気づきにくい人種差別は、実はアメリカ社会ほどではなくとも、日本にも存在するし、世界中のさまざまな国に存在します。宗教が絡んで、その生活習慣の違いで互いの理解ができずに紛争になっている国や地域も多く存在します。そのあたりをきちんと理解し、さまざまな考えや習慣の違いを尊重し合える社会を日本で築いていくことができれば、これは日本にとって大きな利益につながることに私は思っています。それ故に、中学生の今、みなさんにはいろんな人権について考え、自分でしっかりと考えた意見を持ってもらえれば、それは将来必ず役立つと思います。みなさん一人ひとりが自分の力で、人権の問題についてさらに深く掘り下げて考えていってほしいと願っています。

◆◆生徒会選挙が行われました◆◆

10月26日(月)の6時間目、生徒会本部役員の改選に伴う選挙の立会演説会及び投票が行われました。通常の立会演説会は全校生徒が体育館に一齐に入っていくのですが、今回は各教室で事前に撮影した立候補者の演説の動画をタブレットを用いて映像で流し、それを視聴して投票するという形で行いました。一部音声があつ切れになってしまったクラスもありましたが、概ねこの方法でも上手くできるということがわかりました。



コロナの影響で随分学校生活も変化し、全校生徒が集合する場面が減ってしまいました。授業も今まではグループ活動を中心にした授業展開でしたが、昔のような一斉授業がメインになっています。(授業に関しては、これからまたグループ学習をメインにした授業展開に戻していく方向で考えています。)新役員による生徒会活動にもしばらくはコロナウィルス対応の活動を継続しなければなりません。それがどれくらいの期間になるかわかりませんが、タブレット等を用いた新しい生徒会活動を模索していってもらえればと思います。

それでは、新しい生徒会役員になった7名を紹介しておきます。

会長：風間 泰滉 (2-1)

副会長：川上 星愛 (2-3)

文化委員長：浦辺 斗希 (2-2)

環境保健委員長：浅野 心陽 (2-1)

放送委員長：林田 泰誠 (2-3)

体育委員長：北村 千代 (2-3)

学習委員長：平野 友花 (2-3)

7名の新役員のみなさん、1年間全力で頑張ってください。期待しています。

◆◆考えてみよう◆◆

「世界一貧しい大統領」って知っていますか？ネットで検索するとすぐにでてくるので、一度自分で調べてみてください。

わかりましたね。答えは、ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領です。もう5年も前に大統領の職は辞めています。若い頃は、極左武装革命組織「ツパマロス」に属してゲリラ活動を行い、6発の銃弾を受け、4回も投獄され、有罪判決を受けるも2回も脱獄し、最終的に再逮捕されて13年間も牢獄で過ごしています。その後ウルグアイでは軍事政権から民間に政権が移管され、ホセ・ムヒカ氏も恩赦を受けて牢獄から解放されました。解放されてからは政治活動に参加し、1995年に下院議員に初当選し、2000年には上院議員となり、さらに2005年からは農牧水産大臣も務めました。そしてついに2010年から第40代大統領として5年間就任(ウルグアイは憲法で大統領は1期5年しか就任できない)し、ウルグアイの社会発展に活躍しました。

通常ウルグアイでは大統領は大統領官邸に入り、そこで生活するものですが、政治を行うものは一般的な国民と同じレベルの生活をしているべきとの信念から大統領官邸には入らず、大統領になるまで住んでいた二部屋の小さな農家に住み、さらに大統領としての給料月額1万ドルの90%を寄付し、残りの10%にあたる1000ドル弱で生活していたそうです。ちなみにその農家には水道すらなかったそうです。

このホセ・ムヒカ元大統領が一躍世界で有名になったのは、2012年の経済発展と環境保護の両立を考える国連会議でのスピーチです。全文を是非とも読んでほしいので、No.19その2として別紙に印刷しました。

今、世界では、SDGs(持続可能な発展)がもてはやされています。みなさんがイメージしているSDGsはどんなものでしょうか。何をイメージしますか。テレビやマスコミで取り上げられているSDGsはどんな内容でしょうか。あなたはそれが本当に正しいと思いますか。あなた自身の考えを持ってください。

私は、このホセ・ムヒカ元大統領のスピーチの中に、これからの10年~30年先の日本社会(人口減・超高齢化社会・創造的開発力不足・先端技術<AI・ICT等>の遅延・物づくり社会からの脱落・経済力急減・税の減収<国家予算の減少>・労働人口不足<就労人口比率激減>)を支えなければならないみなさんに向けた答え(考え方)がたくさん散りばめられていると思います。今の社会の価値観ではなく、これからの時代を生きていくみなさんに必要な価値観と、そこから生まれてくる真のSDGsの姿が……。